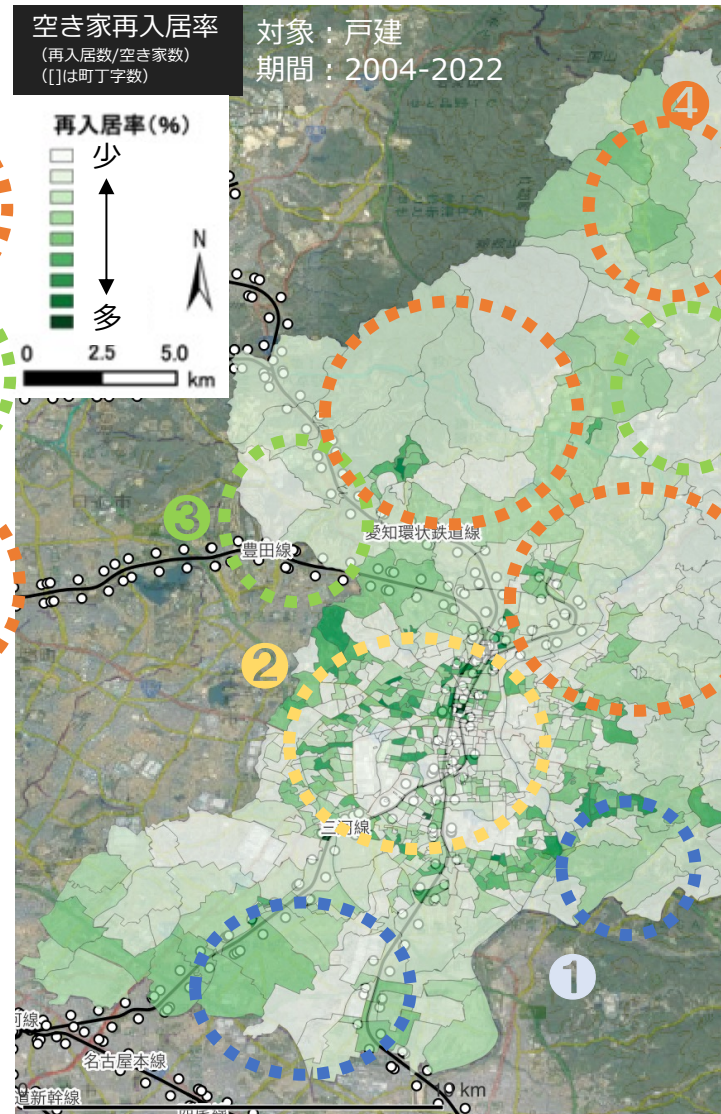
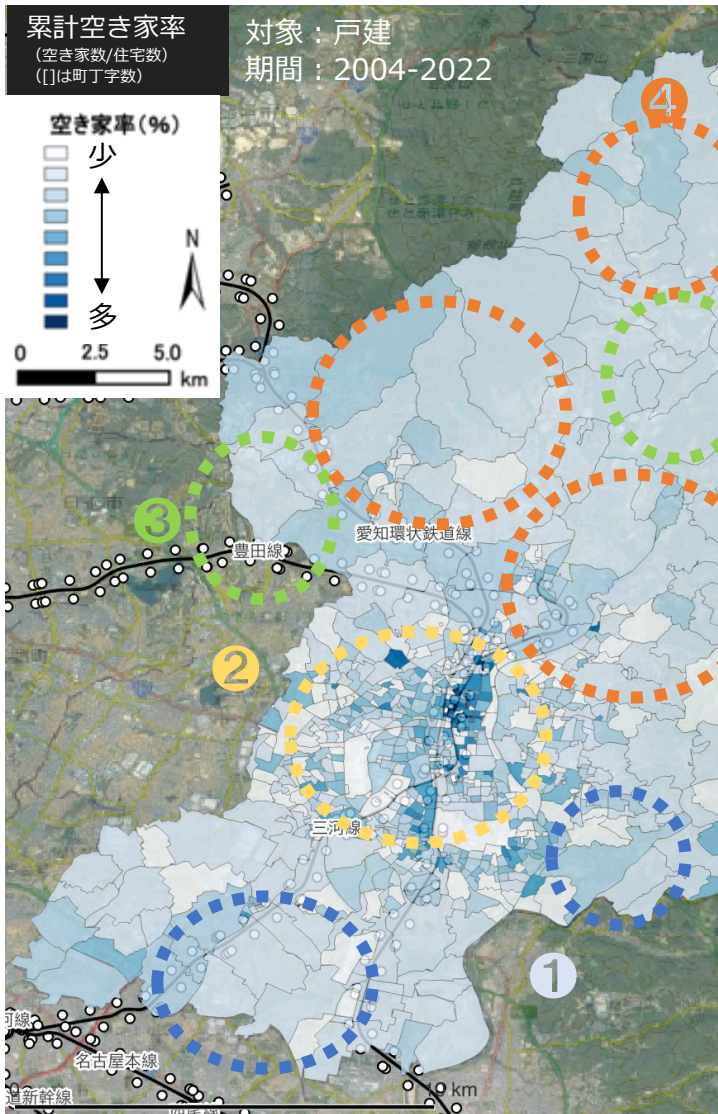


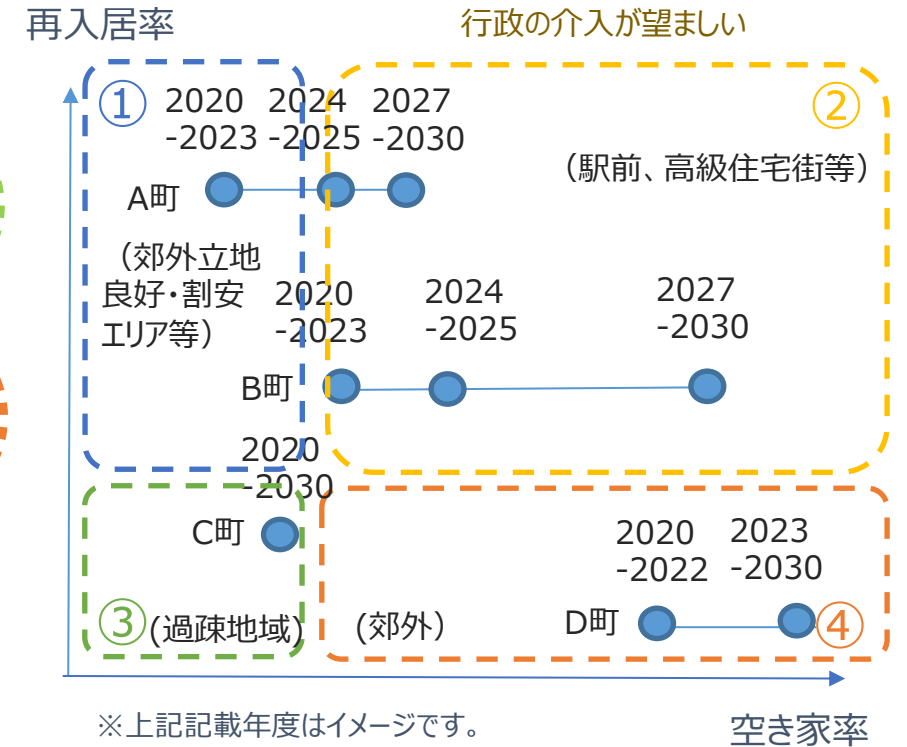
国土交通省令和 5年度空き家対策モデル事業

# 空き家・再入居予測マップ・再入居シミュレータの活用事例資料

# 空き家・再入居予測マップ活用例 重点地域・重点将来年度の策定検討



予測結果・マップに基づき、重点エリア・重点年度の絞り込み、施策内容を検討。

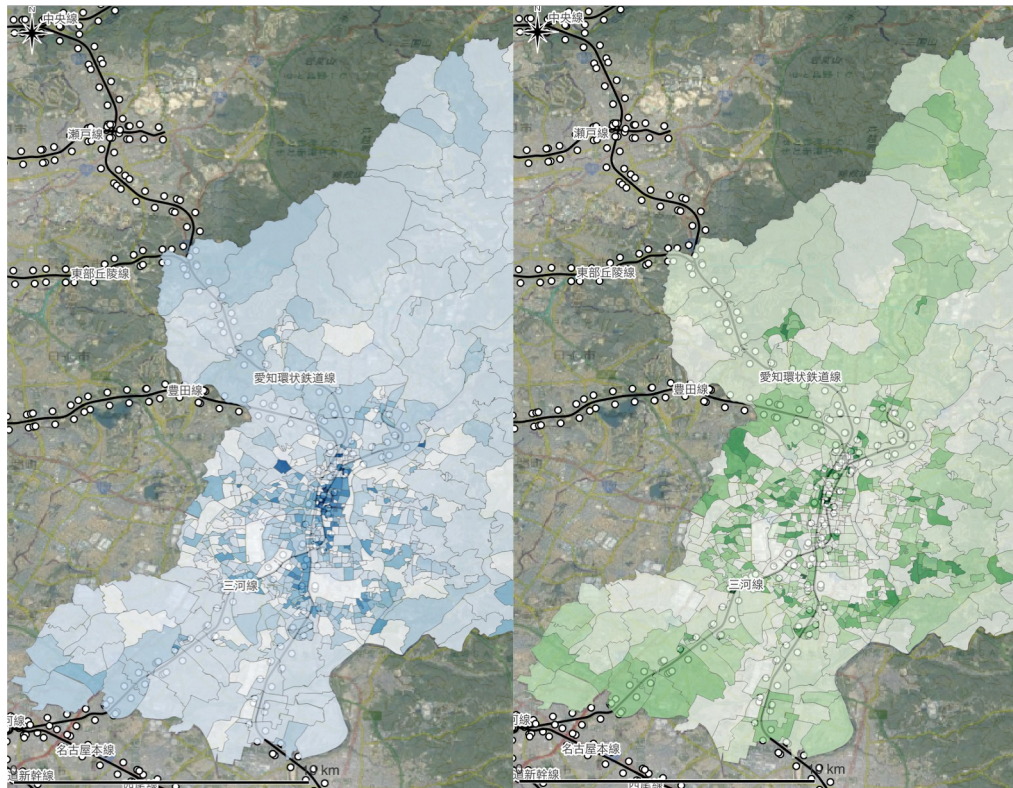


# 再入居シミュレータ活用事例

**コンパクトシティの推進**に向けて、将来空き家が増えるエリアおよび住戸を選定し、所有者・予備軍へ向けた住まい調査を実施。居住・売却意思を根拠とした流通支援、住み替え支援を実施。

## Step1

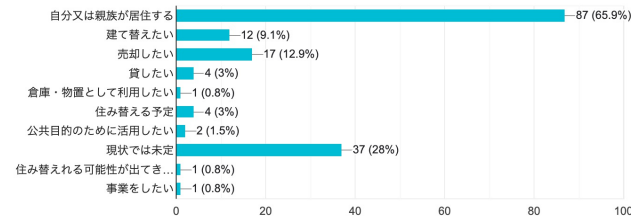
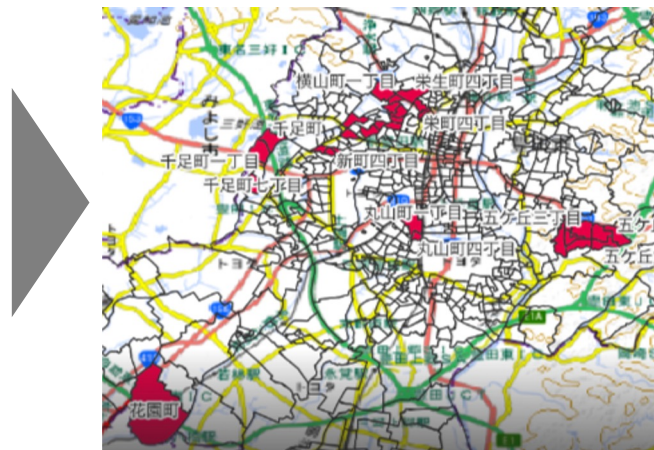
将来空き家予測・将来入居予測  
(予備軍抽出・給水量予測)



microbase

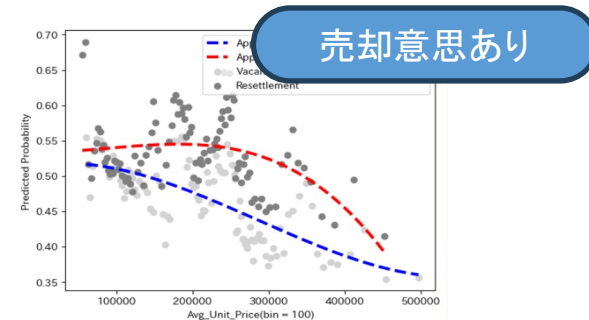
## Step2

所有者・予備軍向け  
住まい調査  
(意思確認・転居支援)

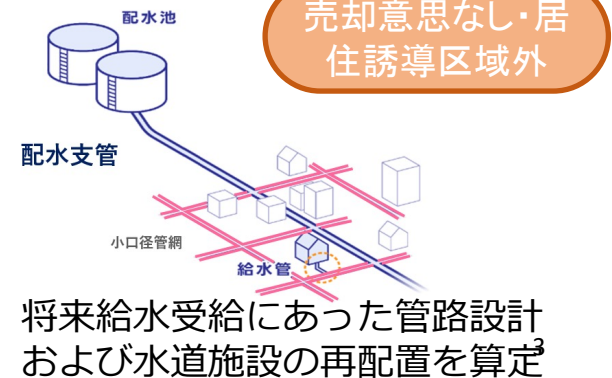


## Step3

中古住宅流通支援



住み替え支援・インフラ  
更新見直し



# 空き家予測マップ活用例 水道凍結対策

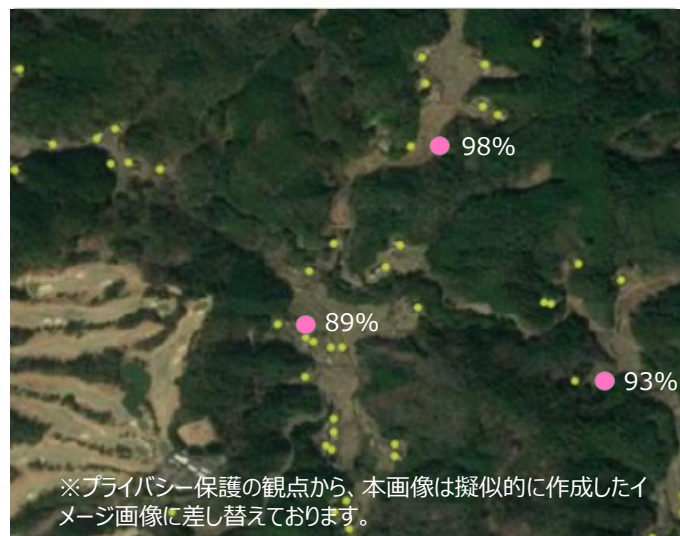
冬季の水道凍結事故防止に向けて、過去の水道使用量から空き家予測を行います。急激な冷え込みが予想される場合に、事前に空き家と推察された住宅で水道栓を閉栓することで、水道凍結事故を防止します。

## ●市空き家対策部門

- ・1/25～26発生事案 4件
- ・2/3発生事案 1件

全ての事案で空き家として把握していない

## ●空き家予測 (Miraie) 例：2/3発生事案



● 空き家と予測された住宅

● 数値は2022年8月-2023年7月において空き家と予測した確率(年平均)

## ●検証結果

- ① 水道局が独自に収集した空き家情報はデータの時点が古いため、最新の空き家情報が水道使用量だけでわかることは大変有益である。
- ② 精度の観点から、緊急時の現地調査の優先順位としての活用は、有用である。
- ③ 市の空き家対策部門、危機管理部門とのデータ連携を行っていく必要性を感じた。

(豊田市からのフィードバック)

